

台風8号による被害の復旧について



7月8日に沖縄島に接近した台風8号による土砂崩れによる影響については、前号でお伝えしましたように、名護青少年の家の周辺でも、沢コース入口近くの東屋までの林道などが車両不通になっていました。

しかし関係する各方面の尽力により、通行規制が解除されました。これにより通常通り、沢コース入口近くの東屋や登山口付近まで車両でも行くことができるようになりました。

復旧するまでの間、利用者の方々には代替コースを使つてのハイキングに切り替えるなど、安全第一の対応にご理解とご協力をいただき、たいへんありがとうございました。



林道とBコースの接続部



登山コースの登山口付近

名護岳の生き物

Vol. 5



名護岳登山道ハイキングコース
「動植物観察ガイド」より

アサギマダラ タテハチョウ科
[方言名]ハベル
[前翅長]50~60mm [分布]国内は関東以南

前翅(ぜんし・前パネ)の地色は黒、後翅(こうし・後ろパネ)は茶色、中央部は半透明のライトブルー(浅葱色)。渡りをするチョウとして知られ、海を渡り100km以上も移動する。沖縄では秋季から初夏にかけて見られる。

監修/高原建二

業務時間: 8:30~17:30

施設案内

休所日: 毎週月曜日

(月曜日が祝日の場合、その翌日)

◆ 宿泊・施設利用料金

種類	宿泊室	キャンプ場 (テント泊)	研修・訓練室 ※団体あたり	体育館・講堂 ※団体あたり
児童・生徒	310円/人	150円/人	150円/時間	360円/時間
学生・一般	620円/人	260円/人	360円/時間	720円/時間

※学校等の教育課程に基づく教育活動で利用する場合、予め免除申請書を提出いただければ、高校生以下の児童・生徒の利用料金が免除されます(但し、食事代とシーツ代、薪代は別途必要となります)。

発行 2014年(平成26年) 9月 1日(月)



沖縄県立
名護青少年の家
Okinawa Prefecture Nago Youth Center

名護市名護5511

TEL:0980-52-2076 FAX:0980-52-3082
http://www.opnyc.jp/

指定管理者



一般財団法人

沖縄美ら島財団
Okinawa Churashima Foundation

ブログ
も見てね!
QRコード



http://www.opnyc.jp/
スタッフブログ



名護青少年の家から臨む
夏の名護岳・前岳の風景
: 平成26年8月25日撮影

自主事業

夏休み宿題 お助け隊

開催しました

名護青少年の家周辺の自然豊かなフィールドを活かし、子どもたちが夏休みの課題に取り組む環境を提供し、取り組みの「きっかけ」や「ヒント」を得てほしいと8月3日に、「夏休み宿題お助け隊」を開催しました。名護市内外から親子連れなど41名が参加して「名護岳生きもの図鑑づくり」と「紙粘土によるアイデア貯金箱づくり」、「サンゴ片を使ったランプシェードづくり」に挑戦しました。



フィールドワークの様子

図鑑づくりでは、午前中は名護岳にて自然観察フィールドワーク、午後は室内で図鑑、標本、昆虫やカエルの生体などを参考に図鑑づくりをしました。

名護青少年の家応援隊の座間味真さん(名護市)より、オキナワカブトムシやヒラタクワガタの生体を提供をいただき、子どもたちは珍しそうに手に取って観察していました。参加した高嶺嗣太郎くんは「名護岳にも絶滅危惧種がいることが解り、良かったです。」と元気に活動の感想を発表してくれました。



スケッチによる図鑑づくり

工作では紙に構想図を描くことから始め、約2時間のうちに紙粘土で貯金箱の形をつくったり、ランプシェードを完成させたり、オリジナル作品づくりに取り組みました。名護の自然に囲まれた名護青少年の家で、職員やボランティアスタッフの大学生のアドバイスを参考にして、子どもたちは発想を自由に伸びのびと広げている様子でした。参加した伊野波奈央さんは「身近な自然のものが作品の材料になるとは知らなかった。」と話していました。



オリジナル作品づくり



作品と一緒にポーズ

【担当者・坂下専門職員より】子どもたちの夏休みの課題に、名護青少年の家の職員もかわりを持つことで、子どもたちに「新たな気づき」や「創作のきっかけ」づくりができたようでした。事業アンケートでは多くの方に「とても良かった」と高い評価をいただき、子どもたちの充実した表情も見ることができて、意義を感じるとともに楽しい事業になりました。子どもと一緒に来てくださった保護者の方々、ボランティアスタッフの大学生、ありがとうございました。



■ ■ イベント報告 ■ ■



自主事業 平成26年度 美ら島自然教室②

「沖縄の川の生きものを源河川でさがしてみよう」

沖縄美ら島財団の人材、知識やノウハウを活用し、子どもたちに沖縄の自然について学んでもらおうと、8月23～24日、名護青少年の家の施設を利用して、平成26年度美ら島自然教室②「沖縄の川の生きものを源河川でさがしてみよう」を開催しました。

講師には、岡慎一郎（沖縄美ら島財団 総合研究センター 研究第一課）を招き、参加者14名（大人7名、子ども7名）で、講義と野外観察を2日間にわたって実施しました。

1日目の講義ではパワーポイントを使ったスライドショーの他に、ホワイトボードやパネルなどを利用した解説を交え、さらに美ら海水族館のバックヤードで行われたリュウキュウアユの人工繁殖を撮影した動画などを放映しました。



講義の様子

また川で活動する際の注意点や事故防止の方法について、しっかりと解説。子どもたちのみならず保護者の皆さんも、特に興味深く聴いている様子でした。

その後は参加者全員で、野外炊飯によるカレーライスづくりを行い、野外でのおいしい食事と交流を楽しみました。



みんなでカレーライス

2日目は朝の涼しいうちから出発し、午前中に源河川にて野外観察を実施。箱メガネで水中を観察したり、中にはシュノーケリングで生きものを探したりと、楽しみながら観察を行いました。

アンケートには「川の生物の説明が分かりやすかった。」「一泊したので、ゆっくりと楽しめました。参加者との交流もできて良かったです。」「採集道具やライフジャケットを使わせていただけて良かったです。安心できました。ありがとうございました。」などの意見をいただき、川の環境や生きものについて理解を深め、楽しく学ぶ良い機会となったようでした。

参加した子どもの中から「国場川で生きものを探してみたい。」という感想もあり、自然環境へ興味を広げる貴重な機会にもなったようでした。



箱メガネを使った観察



川の観察会の様子



【担当者・神谷主任専門職員より】天候に恵まれ、源河川での生きもの観察はとても有意義な時間となったと思います。また野外炊飯活動を通して、親子のふれあいや、他家族との交流ができて、とても良かったです。



●● イベント案内 ●●



自主事業 「ロングサイクリング入門」 ～自転車でやんばるを走ってみよう！！

- 趣 旨：サイクルスポーツを通じてやんばるの豊かな自然を感じながら練習を行う。またスポーツバイクのメンテナンスや公道上でのマナーなどの講習及びロードバイクに関する情報交換会なども併せて行う。
- 期 日：平成26年9月13日（土）～14日（日）
- 場 所：県立名護青少年の家
- 内 容：サイクリングに関する講座、サイクリング（Aコース約40km、Bコース約80km）
- 対 象：一般（高校生以上）
自転車経験者 30km程度走行したことがある方 ※定員20名
- 参 加 料：6,000円／1名
- 受付期間：平成26年8月19日（火）～9月5日（金）※電話受付
- 持 ち 物：①風呂具、洗面用具 ②筆記用具 ③着替え等 ④ヘルメット
⑤グローブ ⑥自転車 ⑦水筒（ドリンクボトル）
⑧自転車走行に適した服装（裾が広くないズボン）



主催事業 オープンデー名護岳登山・ハイキング

- 趣 旨：名護岳の自然観察をしながら自然環境の保全と登山コース・ハイキングコースの紹介を行う
- 期 日：平成26年9月27日（土）
- 実施場所：県立名護青少年の家及び名護岳登山コース、ハイキングコース
- 内 容：名護岳登山コース、ハイキングコースを歩く
- 対 象：一般
- 定 員：①登山コース、午前・午後 それぞれ20名
②ハイキングコースA 午前のみ 15名 ①②合計55名 ※要事前申し込み
- 参 加 料：300円/名 ※保険料等
- 受付期間：9月5日（金）～9月19日（金）※電話受付
- 持 ち 物：①長袖・長ズボンの動きやすい服装 ②帽子 ③水筒 ④運動靴 ⑤雨合羽（雨天時）⑥タオル ⑦着替え ⑧虫よけスプレー 等



自主事業 オータムキャンプ

- 趣 旨：季節を感じるキャンプ、野外活動等を通して家族のふれあいを図る
- 期 日：平成26年10月11日（土）～10月12日（日）
- 実施場所：県立名護青少年の家及び周辺
- 内 容：野外炊飯で秋を感じる炊き込みご飯づくりなど、月見、クラフト
- 対 象：一般（小学生以上）
- 定 員：約20名（5家族程度） ※要事前申し込み
- 参 加 料：2,500円/名 ※保険料など
- 受付期間：9月19日（金）～10月3日（金）※電話受付
- 持 ち 物：①洗面・風呂道具 ②タオル ③着替え ④帽子 ⑤水筒 ⑥運動靴 ⑦雨合羽（雨天時）⑧虫よけスプレー 等



詳しくは名護青少年の家までお問い合わせ下さい。